

日本老年学的評価研究の国際発信に向けた研究

研究分担者 近藤 克則（千葉大学 予防医学センター/国立長寿医療
研究センター 老年学・社会科学研究センター）

研究要旨

日本における高齢者を対象とした JAGES（Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究）の研究手法や研究成果を、国際発信することを目的とした。国際共同研究を推進する中で、JAGES の持つ特徴などを明らかにし、JAGES データ利用の手引き・ウェブサイトの英語化を進め、研究成果を海外に紹介するための書籍の企画を行った。

その結果、WHO 神戸センターや日本医療研究開発機構（AMED）の研究助成を受けた研究が始まり Translational Research（TR）橋渡し研究が特徴であること、手引きやウェブサイトの英語版の草稿ができ、書籍の企画が、スプリングァー社の企画会議で承認され、2018 年度の出版に向けて企画を進めることとなった。

以上のように、国際発信に向けた準備が進んだ。

A. 研究目的

JAGES（Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究）は、日本における高齢者を対象とした代表的な老年学的研究プロジェクト 1 つであると国内外から評価を受けている。そこで、JAGES の研究方法や研究成果を、国際発信することを目的に以下のことに取り組んだ。

2) JAGES 関連資料の英訳

海外への情報発信や共同研究の推進のため、JAGES データ利用の手引き・ウェブサイトの英語化を進めた。

3) 研究成果の書籍化により国際発信

JAGES による今までの研究成果を海外に紹介するため、英語による書籍の企画をし、スプリングァー社と交渉し企画会議に企画を提出した。

B. 研究方法

1) JAGES の特徴についての検討

WHO 神戸センター、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（Japan Agency for Medical Research and Development: AMED）などから研究助成を受けた国際共同研究を推進した。その中で、JAGES プロジェクトの他のステークホルダーとの関係性や発展プロセス、研究デザイン・手法における特徴などを検討した。

（倫理面への配慮）

個人を対象とする調査ではないため、倫理審査の対象外と判断した。

C. 研究結果と考察

1) JAGES の特徴についての検討

(1) WHO 神戸センターとの共同研究

共同研究として「a good practice in research-to-action for healthy ageing in Japan – the Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES initiative)」が始まった

http://www.who.int/kobe_centre/mediacentre/jages/en/. 其中では、JAGES が、日本の介護予防政策の見直しや、地域包括ケア・システムの整備に向けた地域マネジメントにおいて果たしてきた役割やそのプロセス、キーファクターについて分析した。その結果、図 1 のような 7 つの特徴が抽出された。その成果はモノグラフとして WHO からの出版に向けて編集作業中である。

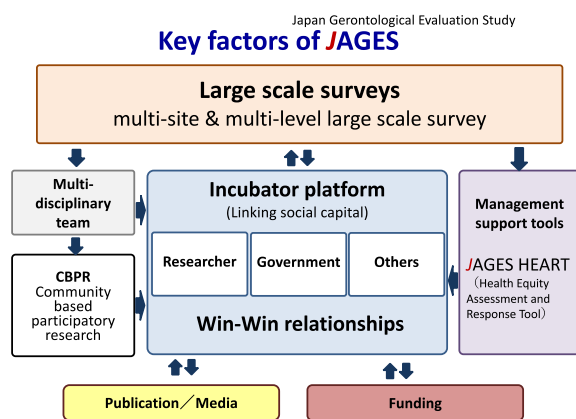


図 JAGES のキーファクター

(2)AMED の国際シンポジウム

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (Japan Agency for Medical Research and Development: AMED) からは、2 回の国際シンポジウムに招かれた。1 つは、2017 年 4 月の AMED ロンドン事務所の開設記念「ヘルシーエイジングに関するシンポジウム」である。もう一つは、「AMED-RISTEX ヘルシーエイジングシンポジウム」の 2 日目「社会にインパクトをもたらす研究とは何か～健康長寿・疾病予防の観点から～」において JAGES

の取組を報告し、その特徴について考察した。

(3) AMED の助成を受けた国際共同研究

AMED の公募に応募し、JAGES と類似の枠組みの調査研究をミャンマーとインドネシアで行う共同研究が始まった。

以上の 3 つの取組みを通じて、JAGES の取組みは国際的にも通用するものであることが確認できた。その特徴は、科学的な研究にとどまらない Translational Research (TR) 橋渡し研究や Implementation Research, Community Based Participatory Research (CBPR) などにあると思われた。

2) JAGES 関連資料の英訳

海外との共同研究の推進のため、JAGES エビデンス集・ウェブサイトなどについて別添資料のように英語化を進めた。(資料 1 : JAGES のエビデンス集、資料 2 : JAGES の概要スライド英語版)

3) 研究成果の書籍化により国際発信

JAGES による今までの研究成果を海外に紹介するため、近藤克則編：健康の社会的決定要因-疾患・状態別「健康格差」レビュー. 日本公衆衛生協会, 2013 に、その後の文献を加え、英語書籍として出版する企画をした。スプリンガー社と相談・交渉し、企画書を作成し、企画会議に提出した。その結果、企画が、スプリンガー社の企画会議で承認され、2018 年度内の出版を目指して企画を進めることとなった。

D. 結論

以上の様に JAGES の研究方法の特徴を明らかにして、その研究成果を国際発信する準備を進めることができた。

【参考文献】

- 1) 近藤克則編：健康の社会的決定要因－疾患・状態別「健康格差」レビュー．日本公衆衛生協会，2013

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- 1) Katsunori Kondo: Evidence to Policies in Healthy ageing. AMED Symposium on Healthy and Active Ageing, 2017.4.12, Royal College of Physicians, London, UK
- 2) 近藤克則：JAGES HEART（日本老年学的評価研究－健康の公平性評価・対応ツール）

を用いた市町村支援研究. AMED-RISTEX ヘルシーエイジングシンポジウム「社会にインパクトをもたらす研究とは何か～健康長寿・疾病予防の観点から～」，2018.2.26～27 会場：日本橋ライフサイエンスハブ

- 3) New Project Featuring Japan's Good Practice in Research-to-Action for Healthy ageing. WHO 神戸センター website(http://www.who.int/kobe_centre/mediacentre/jages/en/)で紹介された。

F. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他